

1. 被害状況について

●学生・児童・教職員の安否状況

- ・教職員は全員無事
- ・学部生は1名死亡（2年生、男子学生、岩手県釜石市）
- ・大学院生は全員無事
- ・留学生は全員無事
- ・附属学校の園児・児童・生徒は全員無事

【学部生】

学 部	学部生数	安否確認数	死亡者数	未確認数
人文社会科学部	982	982	0	0
教育学部	1,160	1,160	0	0
工学部	1,980	1,979	1	0
農学部	1,012	1,012	0	0
学部計	5,134	5,133	1	0

【大学院生】

研究科	院生数	安否確認数	死亡者数	未確認数
人文社会科学研究科	38	38	0	0
教育学研究科	76	76	0	0
工学研究科	470	470	0	0
農学研究科	150	150	0	0
連合農学研究科	150	150	0	0
研究科計	884	884	0	0

【合計（学部＋大学院）】

合 計	学部生数・院生数	安否確認数	死亡者数	未確認数
	6,018	6,017	1	0

●学生の被災状況調査（第8回集計：平成23年5月16日現在）

区 分	(1) 全学生合計	(2) (1)のうち学部生	(3) (1)のうち大学院生	(4) 平成23年度入学者
① 主たる家計支持者の現住所が3.11現在被災地域にある者	3,791	3,323	468	1,013
② 主たる家計支持者の自宅が全半壊した者	155	132	23	46
③ 主たる家計支持者が死亡した者 (②と重複者除く)	3	3	0	1
④ 主たる家計支持者が震災等の影響により失業又は就業の見込みが立たない者(②、④の重複者除く)	174	146	28	56
⑤ 福島第一原発事故の影響により、主たる家計支持者の自宅が警戒区域内にある者 (②～④の重複者除く)	2	2	0	0
⑥ 福島第一原発事故の影響により、主たる家計支持者の自宅が計画的避難区域にある者 (②～④の重複者除く)	0	0	0	0
⑦ ②～⑥の合計	334	283	51	103

要支援学生数 334人

●教職員における家族・住居等の被災状況

- ・実家等全壊 3名
- ・ 〃 流失 2名
- ・ 〃 損傷・浸水 5名
- ・身内に死亡・行方不明者あり 3名
- ・自動車流失 1名

●建物・設備に関する被害

・建物

応急危険度判定士による診断では「危険」、「要注意」は無し
ただし、天井の破損、水漏れの他、壁のひび割れ等あり

部局等	被災内容
人文社会科学部	1号館6階水漏れ、1号館西側ガラス・タイル破損
教育学部	2号館壁モルタルにひび割れ、各階の物品散乱
教育学部附属校園	壁モルタルにひび割れ
工学部	薬品破損少々(応用化学科)
農学部	各所で壁モルタルにひび割れ、各階の物品散乱
図書館	新旧の建物の繋ぎ部分の天井(3階)破損、本散乱多数
国際交流会館	防火扉一部破損

「共通事項」人的被害なし・火災なし」

・設備

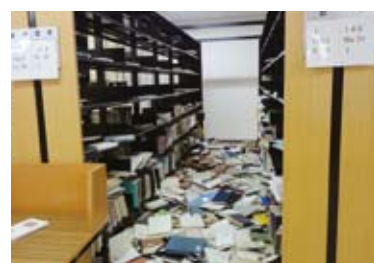
部局等	被災内容
教育学部 工学部 農学部 地域連携推進センター	分析機器等の修理・メンテナンス必要 (作業中・震災にあったため、復旧作業等が必要)



雑壁ひび割れ 附属図書館 書庫



屋上(エキスパンションジョイント)折版屋根ズレ
附属図書館 屋上



本落下 附属図書館



本棚落下 附属図書館



本棚落下 附属図書館



データ処理装置破損 工学部7号館

2. 平成23年度入学者手続き状況について

【前期】合格者安否確認済

学部等	合格者数	入学手続者数	辞退者数
人文社会科学部	134	133	1
教育学部	160	155	5
工学部	277	267	10
農学部	176	170	6
計	747	725	※22

※全てに意思確認済み

【後期】合格者安否確認済

学部等	合格者数	入学手続者数	辞退者数
人文社会科学部	62	44	18
教育学部	72	53	19
工学部	105	87	18
農学部	36	25	11
計	275	209	66

3. 岩手大学が実施した措置について

●危機対策本部（平成23年3月11日（金））

- ・学長メッセージの発信
- ・学生の安否確認
- ・授業料・入学料免除等の措置
- ・職員の特別休暇付与（通勤が困難な場合）
- ・「東北地方太平洋沖岩手大学被災学生募金」の呼び掛け
- ・一般入試（後期試験）のために盛岡入りした受験生の相談への対応
- ・帰宅困難な学生に対して大学施設の開放
- ・緊急用ホームページの開設

●岩手大学東日本大震災復興対策本部（岩大復興対策本部）の設置（平成23年4月1日（金））

- ・学長メッセージの発信
- ・岩大復興対策本部の組織：全学的な取組として、情報を一元化し各部門が責任を持って復興に当たる体制の構築
 - ①情報・連絡調整部門： 情報収集・連絡調整班、情報発信班
 - ②学 生 支 援 部 門： 学生支援班、附属学校支援班
 - ③施 設 ・ 設 備 部 門： 施設・設備関係班、被災者対応班
 - ④地 域 復 興 支 援 部 門： 災害調査・分析班、地域復興支援班、物資支援班、ボランティア班
 - ⑤健 康 管 理 部 門： 学生・地域支援班、児童・生徒支援班

●岩手大学三陸復興推進本部（三陸復興推進本部）の設置（平成23年10月1日（土））

- ・三陸復興推進本部の組織：三陸沿岸地域等の復興推進のため、関係自治体及び協定大学等と連携のうえ、三陸沿岸被災地の支援要求を把握し、事業を展開していく体制の構築
 - ①教育支援部門
 - ②生活支援部門
 - ③水産業復興推進部門
 - ④ものづくり産業復興推進部門
 - ⑤農林畜産業復興推進部門
 - ⑥地域防災教育研究部門
- ・また、三陸沿岸の現地拠点として「釜石サテライト」を設置し、現地の情報収集等を行う。

4. 学事日程関係について

●入試対応関係

- (1) 一般入試（後期日程試験）の中止
 - ・センター試験及び調査書により合格判定
 - (2) 前期日程試験合格者の入学手続きの延長（2日間から3日間へ）
 - ・3月14日（月）～15日（火）を3月16日（水）まで延長
- ※手続き困難者については入学意志を確認の上、4月中に手続きをしてもらうこととした。

●教学行事対応関係

- (1) 卒業式（3月23日）の中止
- (2) 入学式（4月7日）の中止
 - ・5月9日（月）－入学関連行事（新入生歓迎の集い）実施（学長からの励ましの言葉、オリエンテーション）
- (3) 学年暦の変更
 - ・前期授業開始日の変更（4月12日（火）から5月9日（月）に延期）

5. 被災地域に対する支援事項について

- (1) 地域復興に向け岩大復興対策本部を設置し全力支援
 - ・岩手県、岩手県教育委員会、岩手県市長会、岩手県町村会へ支援申し出
- (2) 専門家の派遣
- (3) 教職員・学生ボランティアの派遣
- (4) 獣医師の派遣等
 - ・動物病院移動診療車「わんにゃんレスキュー号」の派遣・診断
 - ・被災動物一時預かり（岩手大学農学部附属動物病院）
- (5) 健康管理に関する支援（心のケア等）
- (6) 被災者への住居の提供申し出
 - ・青山第3宿舍－10室
- (7) 仮設住宅候補地の提供申し出
 - ・農学部滝沢農場（所在地：岩手郡滝沢村滝沢字巣子）18万㎡
- (8) ICT 機器（パソコン等）の提供とIT 技術者派遣の人的支援
- (9) 中古パソコンの提供（情報処理センターコンピューターシステム更新のため不用となったパソコン（日本IBM株式会社より無償供与））
- (10) 学用品（ノート・鉛筆等）の提供

6. 国・地方自治体・関係団体へのお願いについて

- (1) 入学科・授業料免除等に関する財政的支援
- (2) 学生生活支援（住居、教材、生活資金、奨学金）のための財政支援
- (3) 損傷した建物・設備の復旧に関する財政的支援
- (4) 児童・生徒への心のケアのためカウンセラー（臨床心理士）派遣
- (5) 岩手大学被災学生支援募金への協力
- (6) 被災した学生等に配慮した採用活動のお願い
 - ・学長名にて企業様宛に今後就職活動を行う際、被災した学生が不利益にならないよう依頼
- (7) 震災に伴う卒業生のアパート等の退去延長のお願い
 - ・学長名にて（社）全日本不動産協会岩手県本部長様、（社）岩手県宅地建物引業協会会長宛に依頼

7. 岩手大学が行った岩手大学生への支援について

- (1) 卒業式・入学式の中止、前期授業開始の変更
- (2) 入学料及び授業料の免除
 - ・新入生及び在学生へ授業料免除申請を新たに通知
- (3) 入学料及び授業料の徴収猶予（6ヶ月）
- (4) 「被災学生支援募金」の呼びかけ
- (5) 被災した学生への修学支援金の貸与
- (6) 学生緊急貸付（災害特別援助）の募集通知
- (7) 就職内定取り消しの学生を研究生として受入（授業料等全てを免除）
- (8) 経済的援助が必要な学生や内定取り消しをうけた学生、更に心のケアが必要な学生への相談窓口の設置
- (9) 卒業生の引越荷物の一時預かり
- (10) 不動産業者への要望
 - ・引っ越し困難に伴う卒業生への支援
- (11) 新入生に対する入寮追加募集通知
- (12) 復興支援ボランティアを「コミュニケーションサポート実習」として単位認定

8. 平成23年度企業採用予定学生の状況について

(1) 採用取消

- ・2名（男2名）企業所在地（岩手県1、宮城県1）
 - 内訳）被災地のボランティアスタッフをして当面生活費を工面できる者：1名
 - 本学の特別研究生となり、継続して就職活動中の者：1名
- ※うち1名（宮城県）はNTT東日本への就職が決定。
- ※平成24年3月卒業予定者については、採用取消者は無かった。

(2) 採用遅延

- ・11名（男3名、女8名）企業所在地（岩手県3、宮城県4、福島県3、茨城県1）
 - 内訳）採用予定企業に4月以降に採用された者及び近いうちに採用予定の者：8名
 - 就職が約束され、関連業務の研修に赴く者：1名
 - 就職予定企業以外に非常勤職員として就職した者：1名
 - 大学の特別学部研究生となり、就職活動中の者：1名
- ※その後、大学の特別研究生になった者を除き、その殆どが5月～7月までの間に予定されていた企業へ採用された。

(3) 大学が講じた措置

- ・震災後、学内で卒業生の指導教員を通じて採用取消等の事態に陥っている者の情報収集を、3月と4月の2回お願いし、引き続き情報収集を行った。
- ・学生の希望により、学生が大学に籍を置いて進路を検討する場合には、入学検定料や授業料を徴収しない「特別学部研究生」として2名を受け入れた。
 - ※就職活動においては、卒業生にも広く『岩大就職ナビ』の活用を呼び掛け、岩手大学に届いている既卒卒の求人票を紹介している。

(4) 就職率

- ・平成23年3月に卒業した学生の就職率は91.3%（前年比－1.7ポイント）であった。

9. 留学生への対応について

(1) 留学生の動向

●平成23年3月23日現在の状況

在籍留学生数 : 201名（他大学配属留学生23名を含む）

（内訳）

卒業・修了に伴う帰国者 : 24名

緊急一時帰国者 : 111名

盛岡・国内滞在者 : 66名

●平成23年5月1日現在の状況

在籍留学生数 : 200名（他大学配属留学生28名を含む）

（内訳）

新入生 : 60名

在校生 : 140名

(2) 大震災後の対応及び支援の状況

●対応状況

- ・避難所への誘導
- ・国際交流会館居住者への物資支援（懐中電灯、ランタン、水など）
- ・一時帰国に伴う手続き等支援
- ・大使館、入国管理局との連絡調整
- ・学術交流協定校との連絡調整
- ・震災関連サイトの立ち上げ、関連情報の提供
- ・留学生向けの緊急オリエンテーションの開催（3月15日）
- ・全留学生の安否を確認（3月16日時点）
- ・国際交流関係情報交換会の開催（3月16日）
- ・帰国中に入居許可期限を迎えた留学生にかかる学生寮、アパート等の手続き支援

●支援状況

<国費留学生>

①国内採用による国費外国人留学生（緊急援助採用）

平成23年3月の1ヶ月を国費留学生として採用し、奨学金を支給（本学46名採用）

②大震災に伴い一時帰国した国費留学生が再渡日するための航空券支給（本学3名支給）

<私費留学生>

①平成23年度私費外国人留学生学習奨励費給付制度受給者の推薦（災害被災者追加採用）

災害被災者追加採用として平成23年4月～7月（4ヶ月分）支給（本学38名採用）

②（財）ヒロセ国際奨学財団・外国人留学生（災害特別奨学金）の推薦（本学1名採用）

③（財）小林国際奨学財団・外国人留学生（災害特別奨学金）の推薦（本学1名採用）

10. 安全管理への対応について

地震発生時の対応や化学薬品管理等の安全管理については、これまでも教職員へ周知してきたが、東日本大震災発生を受けて、以下について通知した。

●化学薬品の取り扱いについて（平成23年3月14日通知）

岩 大 安
平成23年3月14日

安全衛生管理者 各位

安全衛生管理室長
黒 澤 広 一
(公印省略)

化学薬品の取り扱いについて

標記について、日頃より御協力頂いているところですが、今般の平成23年東北地方太平洋沖地震の際に、転倒による容器破損等の報告がありました。

ついては、余震に備えて、下記の事項について、遺漏のないよう所属の教職員に通知願います。

なお、万が一薬品が漏洩した場合は、直ちに部局の衛生管理者（事務室）に報告するように合わせて周知願います。

記

- 1) 化学薬品については、実験台等に放置することがないように、使用後は保管庫で保管すること。
- 2) 保管庫内の容器が、転倒しないようにすること。
- 3) 保管庫の転倒防止の措置を講ずること。

以上

担当：安全衛生管理室 野田 賢（内線5016）

岩 大 安
平成23年 5月20日

安全衛生管理者 殿

安全衛生管理室長
黒 澤 広 一
(公印省略)

廊下の物品に関して

これまで安全衛生管理の一環として、建物内の廊下・階段に置かれている物品等については、各部局の協力を得て必要な改善に取り組んできました。しかし、この度の東日本大震災並びに余震を受けて、災害に備えた一層の安全確保が必要との認識から、下記のとおり撤去を含む整理整頓の徹底について、所属教職員への指導をお願いします。

なお、各部局の衛生管理者が行う職場巡視で指摘された問題点についても、改善に向けた取り組みを併せてお願いします。

記

災害時の避難路として適切な状態を確保する必要性から、共通スペースである建物内の廊下や階段には、原則として物品等を置かないこととします。

特に安全上問題が認められる下記の項目については、直ちにその改善をお願いします。

1. 高圧ボンベ、化学薬品、実験試料、実験装置、可燃物（灯油など）は撤去
2. 避難口、防火扉、消火設備の障害になる物品は撤去
3. ドアの開閉に障害となる廊下の物品は撤去
4. 適切な廊下幅員を確保
5. 階段については、例外なく物品は撤去

今後、これらの事項については、各部局の衛生管理者による職場巡視においても確認を行います。

担当：安全衛生管理室 野田 賢 （内線 5016）

●大地震発生時（授業中）の教員対応について（平成23年9月28日通知）

※ 「地震対策初動マニュアル」は、「参考」参照。

平成23年 9月28日

教 職 員 各 位

岩 手 大 学 長 藤 井 克 己
岩手大学防災管理者 佐 藤 貢

大地震発生時（授業中）の教員対応について（通知）

地震発生時には「地震対策初動マニュアル」に沿って対応をお願いしているところです。授業中における地震の場合は、学生の避難・誘導が重要とされることから、今回、別添のとおり「大地震発生時（授業中）の教員対応について」を作成いたしました。各先生方におかれては、「地震対策初動マニュアル」と合わせ、一読下さいますようお願いいたします。

また、避難場所について、被災状況の確認や情報収集、避難者に対する情報伝達の観点から、できるだけ部局単位で一カ所に集合していただくよう、下記のとおり見直しをいたしましたので、今一度、避難場所を確認願います。

なお、各講義室には、教員向けの『地震発生時（授業中）の教員対応【抜粋】』を常置し、学生向けにも掲示により初動対応の周知を図ることとしています。

引き続き、非常時の際には、学生の安全確保に努め、避難誘導等の対応をよろしく願います。

【地震対策初動マニュアル】

○ガールーン掲示板→教職員ポータル【緊急時の対応】

http://www.adm.iwate-u.ac.jp/portal/emergency/earthquake_manual.pdf

○岩手大学ホームページ

http://www.iwate-u.ac.jp/reconstruct/file/earthquake_manual.pdf

【避難場所】

学生センターA棟 → 学生センターA棟前ロータリー
学生センターB棟 → 中央学生食堂前
人文社会科学部 → 中央学生食堂前
教 育 学 部 → 総合教育研究棟（教育系）前
工 学 部 → 工学部1号館前
農 学 部 → 農学部1号館前
連合農学研究科 → 農学部1号館前
図 書 館 → 図書館前駐車場
情報処理センター → 図書館前駐車場
地域連携推進センター → コラボMIU駐車場
事 務 局 → 事務局西側（入試課前）

担 当
総務企画部総務広報課
TEL6005,6006
e-mail:ssomu@iwate-u.ac.jp

大地震発生時（授業中）の教員対応について

I. 地震発生時の対応

大きな地震が発生し、身の危険を感じた場合、学生に対し、次の指示を与え、冷静に対処するよう呼びかけて、揺れがおさまるまで待機させてください（どんな大きな地震でも大揺れは数分程度です）。

- ①衣類・持ち物などで頭を覆い、落下物から身を守る。
- ②机の下など、より安全な場所に避難する。
- ③窓ガラスから離れる。

適時、学生に次の指示を出すか、自身で対応ください。

ドアを開放し、出口を確保する。補助暖房（ガスストーブ）等の元栓を閉じる。

II. 大きな揺れがおさまった後の対応

むやみに教室外にでることなく、教室にとどまってください。

（本学の建物は構造上強度があること、教室内の方が情報や指示を把握しやすいこと、移動時には混雑による危険性があること、屋外では落下物の危険性があること、などの理由から、二次災害の恐れがない場合には、安全のため教室にとどまってください。）

ただし、火災や余震等による二次災害の恐れが予測され、緊急に教室から避難が必要と判断した場合は、次の要領により状況に応じて学生の避難誘導をしてください。

①教室からの避難

次の指示を出し、屋外へ誘導してください。

- ・負傷者の有無を確認する。
- ・負傷者や身体障害者の避難をサポートするよう学生等に指示する。
なお、動けない重篤な負傷者がいる場合は、無理に動かさないで救急車を呼ぶ。
- ・学生に「これから避難します。出口に殺到せず、静かに整然と避難してください。避難場所に到着したら、確認が終わるまで、その場を動かさないようにしてください。」と指示する。
- ・近隣教室の教員や事務職員等と協力し、学生を屋外へ誘導する。
- ・誘導標識を目印に避難する。
- ・避難には必ず階段を使用する。（エレベーターの使用は危険）

②教室からの全員の退出を確認

③避難場所までの誘導

下記の避難場所へ学生を誘導してください。避難の際は、次の注意をしてください。

- ・衣類・持ち物で頭を覆い、落下物から身を守る。
- ・窓ガラス・外壁・看板などの落下物に注意する。
- ・地面の亀裂や陥没・隆起、倒木に注意する。

④負傷者対応と避難誘導後の報告

負傷者はできる範囲で応急処置を施し、救護所等へ搬送してください。また、避難完了後、できるだけ教室単位でまとめて避難人員・負傷者人員を把握し、学務課長や事務長等に報告してください。

避難場所

- 学生センターA棟 → 学生センターA棟前ロータリー
- 学生センターB棟 → 中央学生食堂前
- 人文社会科学部 → 中央学生食堂前
- 教育学部 → 総合教育研究棟（教育系）前
- 工学部 → 工学部1号館前
- 農学部 → 農学部1号館前
- 連合農学研究科 → 農学部1号館前
- 図書館 → 図書館前駐車場
- 情報処理センター → 図書館前駐車場
- 地域連携推進センター → コラボMIU 駐車場
- 事務局 → 事務局西側（入試課側）

禁帯出 (G19講義室)

大地震発生時（授業中）の教員対応【抜粋】

I. 地震発生時の対応

学生へ指示

- ・頭を守って、揺れがおさまるまで冷静に待ちなさい
- ・窓ガラスから離れてください

対応

- ◆揺れがおさまるまで、落下物から身を守る
- ◆ドアを開放し、出口を確保する
- ◆補助暖房（ガスストーブ）等の元栓を閉じる

II. 大きな揺れがおさまった後の対応

対応

- ◆むやみに教室外へ学生を出さない

火災や余震が続き二次災害の恐れや大きな危険を感じたら、学生の避難誘導をしてください。

学生へ指示

- ・負傷者や弱者の介助をして
- ・階段を使用し、エレベーターは使用しないように
- ・落下物、陥没、倒壊に注意して

対応

- ◆避難誘導
- ◆全員退出の確認
- ◆誘導標識に従って避難
- ◆避難場所への誘導

避難場所

学生センターA棟前
ロータリー

G19講義室

大地震が発生したら



- ◆落下物等から身を守る
- ◆窓ガラスから離れる
- ◆教室の扉を開ける
- ◆むやみに教室外へ出ない

授業中の場合は、担当教員の指示に従ってください。

火災発生、
余震が続く場合

避難場所

学生センターA棟前
ロータリー

11. 岩手大学にいただいた主な支援物資

震災直後より、多くの大学や他機関の皆様から沢山の支援物資をいただいた。支援物資とともに温かい励ましをいただいたことに、この場を借りて心から感謝を申し上げたい。

いただいた主な支援物資は次のとおりである。

● 国立大学協会を通じた物資

1. 弘前大学(平成23年3月18日)

- ・米 30kg×10袋(玄米) 他



玄米 他

2. 秋田大学

(平成23年3月27日、29日)

- ・灯油(暖房用) 1,000リットル
- ・トイレトーパー
- (業務用、100ヶ入)28箱
- ・単三 100本 他



灯油 1,000リットル
課外活動共用施設地下タンクへ

3. 山形大学(平成23年3月28日)

- ・反射式ストーブ 10台



4. 大阪大学(平成23年3月29日)

- ・反射式ストーブ 14台
- ・単一 100本
- ・単三 100本
- ・単四 20本 他



5. 新潟大学(平成23年5月18日)

- ・飲料水(500ml) 8本入り 90箱
- ・サージカルマスク 10,000枚
- ・単三 1,000本 他



飲料水 他

● 他機関からの支援物資

6. 弓削商船高等専門学校

(平成23年5月16日)

- ・くまで 10本(スチール製)



7. 社団法人全国ビルメンテナンス協会 (平成23年5月20日)

- ・スコップ 5本(スチール製)
- ・アルコール消毒液 120本 他



8. 社団法人岩手県薬剤師会

(平成23年6月6日)

- ・救急箱セット
(殺菌消毒薬、カットバン、目薬、
胃薬 他) 3セット
- ・がんばろう岩手!復興支援セット
(殺菌消毒薬、うがい薬、
ボルタレン 他) 300セット



9. 岩手県環境生活部

(平成23年6月8日)

- ・水(ペットボトル) 200箱(24本入)
- ・飲むフルーチェ(180ml)
100箱(30本入)

